

装飾古墳館は こんなところ

安藤忠雄が仕掛けた「歴史との対話」を楽しむ博物館。対話は、建物へのアプローチ段階から既に始まっている。

長く味のある対話を楽しんだ後、私たちは「黄泉の国」へと導かれ、「死と再生」を疑似体験することとなる。

安藤建築は建物単体ではなく、周囲の景観や環境までも一体としてデザインし、その使用目的に最適化するよう、訪問者を導いていく。

それでは、装飾古墳館へと向かいましょう。

